



病院案内



NOGUCHI THYROID CLINIC
AND HOSPITAL FOUNDATION

医療法人 野口記念会

野口病院



【病院の理念】

科学的、合理的、
安全で良質な医療の提供に
努めます。



TEL 0977-21-2151

再診予約専用>TEL 0977-21-9700

大分県別府市青山町7番52号 FAX 0977-21-2155

<https://www.noguchi-med.or.jp/>



I

根拠に基づいた医療を提供します

曖昧な方法の治療ではなく、Evidence Based Medicine (EBM) に基づいた治療の提供を最新の医療機器を用いて実践します。



II

患者様に学びます

患者様の立場に立ち、患者様の納得のいく治療であったか、改良の余地がないか等について常に調査を行い、治療の継続的改善を目指します。



III

チーム医療を推進します

すべての職員がそれぞれの役割に応じて協力し、患者様を中心としたチーム医療を推進します。



IV

患者様の権利を尊重します



詳しくは次のページをご参照ください。



患者様の権利

患者様は、人間としての尊厳を有し、平等な医療を受ける権利を持っています。野口病院はこのような考え方にに基づき、「患者様の権利」を尊重します。

- ① 良質な医療を平等かつ公平に受ける権利があります。
- ② 人間として、その人格や価値観などを尊重される権利があります。
- ③ 病気、検査、治療等について、わかりやすい言葉や方法で納得できるまで説明を受ける権利があります。
- ④ 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などについて自らの意思で選択する権利があります。
- ⑤ 病院内でのプライバシーに関して、可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。
- ⑥ 自分が受けている診断や治療について他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
- ⑦ 自分の診療記録の開示を求める権利があります。
- ⑧ 研究途上の医療に関し、治療目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、その治療を受けるかどうかを決める権利と、何らかの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。

目次

9P

知っておきたい病気 基礎知識

甲状腺の病気	10P
バセドウ病眼症	11P
副甲状腺の病気	12P
糖尿病	13P
骨粗しょう症	14P

15P

受診のご案内

初めて診察を受ける方へ	16P
主な診察前検査	20P
2回目以降の外来診察について	22P

27P

入院のご案内

入院について	
入院手続き	30P
入院当日／入院費用	31P
書類の申請／入院生活用品	32P
入院生活について	
食事／付き添い／外出・外泊	33P
非常時／面会・電話の取次ぎ	34P
盗難防止について	35P
退院について	
通常退院の手続き	37P

39P

野口病院のすがた

設備	40P
環境	44P
特色	47P
ホームページ	50P
施設案内図	51P
あゆみ	56P
アクセス	58P

知ってみたい

病気基礎知識

甲状腺の病気

10P

バセドウ病眼症

11P

副甲状腺の病気

12P

糖尿病

13P

骨粗しょう症

14P

病氣治療の第一歩は、
病氣のことを正しく理解することです。

Q. 甲状腺はどこにありますか？

A. 頸部の喉仏（のどほとけ）のすぐ下にあります。甲状腺は、胃や心臓などと同じく体の一部で、病氣の名前と誤解されることもあります。正確には頸部にある臓器の名前です。重さは10g程度で蝶のような形をしている小さな臓器です。甲状腺は甲状腺ホルモンを出し、全身のすべての細胞がどのくらいエネルギーを使って働くかをコントロールしています。

Q. 甲状腺のホルモンを必要以上に分泌して過剰にエネルギー消費をするのはどんな病氣ですか？

A. 最も多いのはバセドウ病です。その他に亜急性甲状腺炎、無痛性甲状腺炎、甲状腺機能性結節（プランマー病）などがあります。

Q. 甲状腺ホルモンを充分に出せない病氣にはどんなものがありますか？

A. 最も多いのは慢性甲状腺炎（橋本病）によるものです。その他、ヨウ素過剰摂取や甲状腺手術後、亜急性甲状腺炎や無痛性甲状腺炎の回復期、先天性などの場合があります。

Q. 甲状腺の病氣は、甲状腺ホルモンを多く作るか、少なく作るかだけですか？

A. いいえ、そうではありません。甲状腺ホルモンが正常な甲状腺疾患もあります。甲状腺の良性腫瘍、悪性腫瘍、腺腫様甲状腺腫などがそれにあたります。

Q. バセドウ病眼症とはどんな病氣ですか？

A. 眼は外から見えるまぶた、結膜、涙丘（内眼角にある小さな紅色の肥厚部）、外からは見えない涙腺、眼球を動かす筋肉、その周囲の脂肪組織、視神経などの多くの組織から成り立っています。バセドウ病眼症はこれらの一つあるいは数ヶ所に病変が起こるので症状は非常に多彩です。最も多い症状では上眼瞼の収縮であり、まっすぐ前を見ている時に上のまぶたと黒眼の部分との間に白眼の部分が見える状態です。他の症状としては、まぶたの腫れ、眼の充血、眼球突出、ものが二重に見える、まぶしい、視力低下などがあります。

Q. バセドウ病眼症を悪化させる要因はなんですか？

A. 喫煙はバセドウ病眼症を悪くする原因になります。バセドウ病の治療のうち抗甲状腺剤と手術療法はバセドウ病眼症に悪い影響はないといわれています。放射性ヨウ素内用療法はバセドウ病眼症を悪化させることがあります。



Q. バセドウ病眼症の治療は？

A. 外眼筋の炎症が活発な時期は、ステロイドパルス療法（ステロイド剤の点滴）と外眼筋に対する放射線外照射療法を行います。外眼筋の炎症がすでに治まっているにも関わらず、日常生活に支障がある場合は眼の手術になることがあります。その場合は専門の眼科医を紹介します。

Q. 副甲状腺とは何をする臓器ですか？

A. 甲状腺の背面近くにある臓器で、普通は4腺(右に2腺、左に2腺)存在します。1腺の大きさは米粒大(約30～50mg)と小さく、その位置は必ずしも一定ではありません。副甲状腺から分泌される副甲状腺ホルモンは、骨からカルシウムを取り出して血中のカルシウム濃度を一定に保つ役割を果たしています。

Q. 副甲状腺の病気にはどんなものがありますか？

A. 副甲状腺が腫瘍化し副甲状腺ホルモンを過剰に分泌する原発性副甲状腺機能亢進症、腎臓の機能が低下し血中のリンが多くなりすぎたことで副甲状腺が大きくなってたくさんのカルシウムを骨から取り出してしまう腎性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺ホルモンをつくることができない特発性副甲状腺機能低下症、術後性副甲状腺機能低下症などの機能異常が主なものです。そのほか非常にまれですが、がんもあります。

Q. どんな人が副甲状腺機能亢進症になりやすいのですか？

A. 閉経後の女性に多いことがわかっていますが、男性にもおこります。遺伝によっておこる場合もあります。

Q. 副甲状腺機能低下症ではどんな症状がでますか？

A. 血液中のカルシウムが低下するため、手や顔がしびれやすくなります。重症になると手が硬直して全身が強くしびれます。カルシウム剤やビタミンD剤を内服して治療します。

Q. 糖尿病とはどんな病気ですか？

A. インスリンというホルモンの働きが足りないために血糖値が高い状態(高血糖)が続く病気です。高血糖が永く続くと疲れやすい、喉が渇く、トイレが近いなどの症状や、眼底出血、腎臓の障害を来すことがあります。動脈硬化がはやく進行する可能性があります。

Q. 2型糖尿病とは何ですか？

A. いくつかの糖尿病のタイプの中で最も多いものが2型糖尿病です。遺伝的な体質に加えて、食べ過ぎ、運動不足、肥満などが重なって年齢と共に徐々に血糖値が高くなります。最初は自覚症状がありませんので検診などで血糖を測って気づくことがほとんどです。

Q. 自覚症状がなければ何もしなくていいですか？

A. 自覚症状のない早期から治療を始めることが大切です。放っておくと血糖値はさらに高くなり、後に眼や腎臓の障害を引き起こします。食べ過ぎ、運動不足、肥満があれば、まずその解消に取り組みしましょう。適切な食事と運動の分量はひとりひとり違いますので主治医に相談しましょう。

Q. 薬の治療は必要ですか？

A. 薬を使う前にまず食事、運動を含めた生活習慣の改善が大切です。その上で必要に応じて内服薬や注射薬を使うことがあります。2型糖尿病に使う薬には多くの種類があり、うまく使い分けることがとても重要です。ひとりひとりの病状に応じた薬を選んでいきます。

Q. なぜ治療が必要なのですか？

A. 高血糖が永く続くと眼や腎臓の障害だけでなく、脳梗塞や心筋梗塞・狭心症など動脈硬化によって起こる病気になる危険性も高くなります。また、感染症にかかりやすくなります。高血糖のままですと他の病気の治療や手術に差し支える場合があります。このような事態を避けるために日頃から正しい方法で血糖値を下げておく必要があるのです。



Q. 骨粗しょう症とはどんな病気ですか？

A. 骨がもろくなって骨折し易くなる病気です。女性では閉経後に女性ホルモンが減るために骨粗しょう症が進行しやすくなります。体質や若い時からの生活習慣が影響します。男性でも骨粗しょう症になることがあります。また、甲状腺や副甲状腺の病気が適切に治療されなければ骨に影響することがあります。ステロイドなどの薬剤による骨粗しょう症もあります。

Q. どの骨が折れやすいのですか？

A. 重いものを持ち上げたときや尻餅をついた時に腰椎（腰の背骨）の圧迫骨折を生じることがあります。転んで手をついた時に腕の骨が折れることがあります。転んで尻餅をつくると大腿骨頸部（股関節）が骨折することがあります。いずれも転倒など急に強い力が加わった時に骨折します。

Q. 骨折以外の症状はありますか？

A. 腰痛、身長が低くなる、腰が曲がるなどは骨粗しょう症を疑う症状です。

Q. 骨を鍛える方法がありますか？

A. カルシウムを十分に摂りましょう。適度に日光にあたると皮膚でビタミン D が作られます。ビタミン D は骨の健康に必須のビタミンです。適度の運動も骨を強くすることに役立ちます。骨のカルシウムを増やし骨折を予防するための内服薬や注射薬もあります。

Q. 骨折の予防法はありますか？

A. 転ばないことが一番です。家の中のつまずきそうなものを片付けましょう。段差に気をつけて歩きましょう。かかとの高い靴や脱げやすい履物を履かないようにしましょう。適度の運動で筋力をつけることも大切です。

受診のご案内

初めて診察を受ける方へ

16P

初診の方の予約は

TEL 0977-21-2151(代)

電話予約受付時間

月～金 8:00-17:00 ± 8:00-12:00

主な診察前検査

20P

2回目以降の外来診察について

22P

再診の方の予約は

TEL 0977-21-9700

電話予約受付時間

月～金 8:00-17:00 ± 8:00-12:00

再診の方は、電話以外にインターネットから空き状況の確認と予約ができます。





窓口受付時間 月曜日～土曜日

7:45 ～ 10:30

交通機関の都合などで上記の時刻に間に合わない場合には
お電話での連絡をお願いいたします。

現在服用中のお薬がある方は、その内容が分かるお薬手帳や
薬の説明書等も一緒にご持参ください。

紹介状

現在お近くの診療所または病院にかかっている方は、診療情報提供書（紹介状）をもらってきてください。診療情報提供書には今までの検査結果、治療経過などを書いてもらってください。初めての診察の時に現在の病気の経過、他の医師に治療を受けたことがあるかなどについてお尋ねします。他院で処方されている薬の名前を聞いてくるか、その薬をお持ちください。



マイナンバーカードの健康保険証利用について

マイナンバーカードを健康保険証としてご利用いただけます。マイナンバーカードをお持ちの場合は窓口設置の機械を使用することで、資格情報等（加入している医療保険や自己負担限度額等）を確認することができます。

マイナンバーカードの健康保険証利用には、政府が運用するオンラインサービス「マイナポータル(<https://myna.go.jp/>)」への事前登録が必要です。詳しくはマイナポータルサイトをご確認ください。



※従来の健康保険証もこれまでどおり使用できます。



本人確認と連絡のために

患者様との至急の連絡あるいは御家族と連絡が必要になることがありますので氏名、生年月日、郵便番号、住所、電話番号（自宅、勤務先、携帯電話）、職種などをお聞きます。上記事項の記載にご協力ください。



受診日の朝食について

受診日の朝食は普段通りとっていただいて構いません。朝の薬がある場合も内服してご来院ください。問診のときに朝食を食べてきたこと、薬を飲んできたことを看護師にお伝えください。



2日続きで受診される方へ

病状によっては2日続きの検査が必要になる場合があります。2日目は、再診受付後に予診受付より検査室へご案内します。



耳の不自由な方へ

受診の際に手話通訳者の派遣をご希望の場合は、お住まいの地域の聴覚障害者センターへお問い合わせください。患者様で手話通訳者派遣のお申し込みをし、ご来院ください。



病院正面玄関の開閉時間について

病院正面玄関扉は下記の通りご利用いただけます。

月～金 7:00～18:00 土 7:00～13:00

日曜・祝日・休診日および正面玄関が閉まっている時間帯は夜間通入口をご利用ください。

その他の大事なこと

駐車料金は、受診者であれば原則無料になります。ただし、精算手続きを行わないと駐車料金が有料となります。精算手続きを行うためには駐車券が必要となりますので、必ずお持ちください。精算手続きにつきましては受付カウンターでご案内しております。ご確認ください。

連休明けや月曜日は電話が混み合うことがあります。あらかじめご了承ください。

学会等で医師が不在の場合があります。初めて来院される場合であっても、事前に予約されることをおすすめいたします。

コインロッカー（有料）が1階薬局前にあります。荷物の多い方はご利用ください。

公衆電話は1階薬局前（コインロッカー横）にあります。

自動販売機（飲み物）は1階休憩コーナー横にあります。

売店は2階にあります。

携帯電話での通話は1階休憩コーナーでのみお願いします。

病院敷地内は駐車場を含め全面禁煙となっております。

非常口の場所はあらかじめご確認ください。
※非常口は、火災報知器が作動すると自動解錠されます。ドアを開けて避難してください。

受診や病気についてわからないこと

受診や病気についてわからないことは
電話またはホームページをご覧ください。

TEL:0977-21-2151（代表）

<https://www.noguchi-med.or.jp/>

主な診察前検査…検査結果が揃ってから診察を受けます。

採血について

番号案内表示システムを導入し、各採血室をパーテーションで仕切ることでプライバシーに配慮しています。



採血室

血液検査について

採取された血液を遠心分離後、上清の黄色い液体部分を使って甲状腺ホルモンや血糖、コレステロール、カルシウムなどを測定します。採血受付から1時間程度で結果がでます。



機器による分析の様子



採取した血液

エコー（超音波）検査について

くびに超音波をあてて甲状腺やリンパ節の様子を調べます。腫瘍（しこり）があるかないか、大きさ、数、位置などが分かります。検査は5～10分で終わります。痛みもなく身体に無害ですので繰り返し検査することができます。



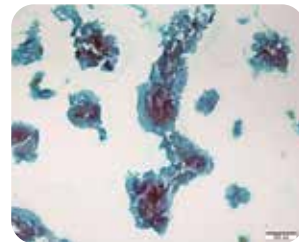
エコー検査

穿刺吸引細胞診検査について

くびに細い注射針を刺して腫瘍から細胞を採取します。その細胞を染色し、顕微鏡でみて癌かどうかを診断します。当病院では穿刺したその日のうちに結果を聞くことができます。



顕微鏡



染色した細胞

野口病院の外来診察は予約制になっています。

当病院では、外来の診察は予約制になっています。予約は診察をスムーズに公平に行っていくために欠かせないシステムです。予約をしていないと待ち時間が長くなることがあります。

外来診察時間

平 日 9:00～12:00 13:00～14:30

土 曜 9:00～12:00

2 回目以降のご予約方法に関しては 26 ページをご覧ください。

受付のご案内

1. 平日の外来診察は、午前は 9:00 から 12:00 まで、午後は 13:00 から 14:30 まで行っています。土曜は 9:00 から 12:00 までです。
2. 当病院では、診察に先立って必要な検査を済ませ、結果が揃ってから診察を行います。予約された診察時間は来院時間ではなく、診察開始の予定時間になります。予約された診察時間よりお早めにご来院ください。来院時間については受付でお尋ねください。
3. 大部分の再診患者様は前回の診察時に、次の診察でどのような検査をするかが決められています。特別な検査を予定している場合はスタッフから説明があります。

※血液検査の場合、採血から結果が出るまでに 1 時間程度お待ちいただくことになります。

4. CT (X 線断層撮影装置) 検査はおよそ 10 分～15 分、MRI (磁気共鳴画像診断装置) 検査は、30 分～60 分(部位により異なります) 程度の時間がかかります。ただし、患者様によっては検査の説明に長い時間を要しあらかじめ計画した時間より遅くなることもあります。
5. 核医学検査 (RI 検査、放射性医薬品を使用する検査) など予約が必要な検査のため来院された方は、再診受付窓口で受付を済ませた後、予診カウンターへお越しください。その後、検査室へご案内します。来院できない事情が発生したときは、直ちに病院にご連絡ください。RI 検査の薬は予約日に合わせて取り寄せており、有効期限が当日限りのものが多いからです。

本人確認と連絡のために

患者様との至急の連絡あるいは御家族と連絡が必要になることがありますので氏名、郵便番号、住所、電話番号 (自宅、勤務先、携帯電話)、職種などに

変更があった場合は、受付時に必ずお申し出ください。





その他の大事なこと

保険証は毎回確認させていただいております。保険証をお忘れになった場合には、一時的に自費扱いとさせていただきます。保険証の確認がとれ次第、保険診療費との差額分をお返しいたします。マイナンバーカードを保険証として利用することも可能です。(P17をご覧ください)

診察が終わりましたら、計算窓口へお越しください。

次回の診察がある方は、外来予約窓口にて次回の予約をお取りください。医師の不在や予約の空き状況によっては、ご希望の日に時に予約が取れないこともございます。

医師の出張などによって、担当医が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご不明な点がありましたら、スタッフにお気軽にお尋ねください。

電話で再診予約をお取りになる方は、再診予約専用電話をご利用ください。ご予約はなるべくお早めにお取りください。

再診予約専用電話 0977-21-9700

電話受付時間 平日 8:00 ~ 17:00

土曜日 8:00 ~ 12:00

再診の方はインターネットから空き状況の確認と予約ができます。



予約を変更したいとき、予約忘れに気づいたときも同様に再診予約専用電話におかけください。



入院のご案内

入院について

28P

入院手続き
入院当日／入院費用
書類の申請／入院生活用品

入院生活について

33P

食事／付き添い／外出・外泊
非常時／面会・電話の取次ぎ
その他の大事なこと

退院について

37P



質の高い療養環境



入院のご案内
入院について

入院のご案内
入院について

入院について、わからない点やお困りのことがございましたら、スタッフにお気軽にお尋ねください。



入院手続き

1. 入院の申し込みは診察室で医師と話し合っ決定していただきます。疾患によって入院の目的、予想される入院期間、治療法などが異なります。
2. 入院費用や高額療養費等の補助に関する申請方法、特別室の希望などについては医事課職員にご相談ください。
3. ご都合により入院日の変更を希望される場合は、お早めに電話でご相談ください。その時には診察券番号が必要です。診察券を用意して代表電話にご連絡ください。

代表電話 0977-21-2151



入院当日

入院当日は、入院予約票、入院契約書、追跡調査同意書、保険証、診察券、特別室希望申込書(希望する方のみ)、現在服用中のお薬と内容がわかるもの(お薬手帳など)を持って10:00までに来院ください。

※初診でそのまま入院される方は 8:30 までに来院してください。

※ご都合により 10:00 までに来院できない方は、事前にご相談ください。

※交通機関等の事情で指定の時間に間に合わない場合は、お早めに連絡をお願いいたします。

入院費用

1. 入院にかかる諸費用は、医療費と食事代、個室をご利用の場合は個室料金の合算額になります。加入されている健康保険の自己負担率、ならびに健康保険法などの規定により請求額が決まります。健康保険のない方は全額自己負担となります。
2. 医療費の計算は毎月、月末締めです。請求書がお手もとに届いた後 1 週間以内に 1 階会計窓口にてお支払いください。退院の場合には退院当日にお支払いください。現金のみのお取り扱いとなります。

負担割合は、医療保険制度の改正により変わることがあります。



書類の申請

1. 保険会社への入院証明書（診断書）、紹介状、傷病手当金支給申請などの書類が必要な場合は、退院前にお申し出ください。
なお、退院までに書類の準備が間に合わなかった場合には、後日郵送します。到着まで1～2週間かかる場合がありますのでご了承ください。
2. 病院発行の診断書をご希望の方は、所定の申込書への記入が必要になりますのでスタッフまでお知らせください。

入院生活用品

1. 入院の時には、身のまわりに必要なものをお持ちください。

肌着・部屋着・着替え・洗面器・洗面用具・箸、湯飲み・ルームシューズ（転びにくいかとを覆うタイプのはき物）・爪切り

※その他、めがね・コンタクトレンズ・補聴器・入れ歯・それらのケース・携帯電話（充電器）・生理用品・お薬手帳など、必要に応じてご用意ください。

2. 手術を受ける方は上記の他に次の物を用意してください。

ストローまたはらくのみ・タオル3枚・バスタオル2枚・前あきの寝巻・髪の長い方はヘアネット

※手術当日に使用するタオル・バスタオル・前開きの寝巻については、2階売店でレンタルすることもできます。（有料）

※上記の物品は、2階売店にも取り揃えております。

3. 持ち物にはお名前をご記入ください。

食事

1. 食事は医師の指示によって献立調理した病院食です。飲食物の持ち込みはご遠慮ください。
2. 治療・検査のために食べてはいけない物があります。当病院の食事以外のものは食べないでください。
3. 入院日の食事は、原則昼食からとなります。



付き添い

1. 付き添いは原則として必要ありません。

外出・外泊

1. 外出・外泊は原則としてできません。
2. 治療上必要な外出・外泊などの場合は医師の判断によって認められることもあります。その際には所定の申請書によってスタッフに届け出てください。
3. 外出・外泊される場合は、時間通りにお帰りいただくようお願いいたします。お出かけ・お帰りの際には、必ずスタッフにお声がけください。やむを得ない事情でお帰りが遅れる場合には、必ずご連絡をお願いいたします。
4. 医師の許可なく無断で外出・外泊された場合は入院治療の継続が困難となりますので、退院の手続きをさせていただくことがあります。また、無断外出し、居場所不明の場合、警察に捜索を依頼することもあります。



非常時

1. 非常口の場所の確認をお願いいたします。(P52～P55)

非常口は、火災報知器が作動すると自動解錠されます。ドアを開けて避難してください。

面会・電話の取次ぎ

1. 感染症の流行状況などによって面会を制限することがあります。詳しくはホームページなどでご確認ください。

※患者様の十分な安静と治療のために、面会の際には決められた時間をお守りください。

※面会の方には、1 階受付カウンターで「面会名簿」にご記入し「病棟通行カード」を携帯していただきます。

※病室内で飲食したり、大声で話したり、また面会者が宿泊することは固くお断りいたします。

2. 患者様への電話の取次ぎはご遠慮ください。

盗難防止について

1. 多額の現金、アクセサリなどの高価な貴金属類はお持ちにならないでください。
2. 現金・貴重品・テレビカード等は、ベッド横テレビ台の鍵の付いた引き出しに入れ必ず施錠してください。鍵は各自で責任をもって管理してください。
3. 1 階の会計窓口にて現金のみお預かりすることができます。
お預かり可能な時間帯／平日：正午～15:00
土曜：9:00～11:00
(日曜・祝日・休診日はお預かりできません)
4. 持ち物の破損や紛失・盗難につきましては、当院では一切の責任を負いかねます。



その他の大事なこと

病院敷地内は駐車場を含め全面禁煙となっております。

大分銀行のATM(現金自動預入払出機)は1階防災センター横にあります。全国の金融機関を利用できます。

ATMのご利用時間 平日／9:00～17:00

※土・日・祝日と銀行休業日はお休みです。

病院駐車場は、外来患者様専用となっております。入院中の患者様の駐車は、原則としてお断りしています。

各階に飲み物・TVカードの自動販売機(有料)があります。度数の残ったTVカードは1階コインロッカー奥のTVカード精算機にて払戻ができます。

病室に冷蔵庫(有料)がございます。TVカードでご利用が可能です。

消灯時間は、21:30です。お互い迷惑にならないようご協力ください。

ペット類の同伴はできません。

ごみの分別収集にご協力ください。不燃物は各階のデイルームの不燃物入れにお入れください。

病院内の衛生状態を良好に保つため、窓を開けないでください。

病棟各階に有料(現金・TVカード使用可)の洗濯機・乾燥機があります。消灯後の利用はご遠慮ください。

電気ポット等火災の発生のおそれのある器具は、許可なく使用しないでください。給茶、給湯器は、病棟各階に設置しています。

携帯電話での通話は、各個室・病棟各階デイルーム・6階屋上庭園でのおお願いいたします。それ以外の場所では、携帯電話はマナーモードに設定するか、電源をお切りください。

公衆電話は病棟各階デイルームに設置してあります。

無線LAN(Wi-Fi)によるインターネット接続サービスを無料で提供しています。接続に関する手順等は院内の掲示をご確認ください。なお、パソコンやタブレット端末などの貸出は行っておりません。

入院中お困りのことがございましたらスタッフにご相談ください。

通常退院の手続き

1. 通常の退院では前日に医師の診察と説明があります。
2. 他の医療機関から紹介があった場合は、当病院での診断、治療結果を紹介元の医療機関あてに診療情報としてお送りしています。

《強制退院の基準》

下記のような場合には、カンファレンスで退院を決定し、本人及び家族の意思と無関係に退院をしていただくことがあります。

1. 病院の規則に違反し注意しても聞き入れないとき
2. 罪を犯したとき
3. 何らかの事情で当病院では治療・看護できないと判断したとき
4. 入院契約書に故意に重大な虚偽の記載をしたことが明らかになったとき
5. 有効ではない保険証を故意に使用したとき
6. その他社会通念に照らして入院を継続することが著しく不適当と判断されたとき

【個人情報保護に関する方針】

野口病院では受診された患者様から診療に必要な個人情報をご提供いただいております。個人情報を安全に保管し適切に取り扱うために「個人情報保護に関する指針」を策定し、以下の方針を遵守しています。

※個人情報とは、氏名、生年月日、住所、過去の病歴、ご家族の情報、診療録（カルテ）に記載される情報、健康保険証の情報などをさします。

1. 個人情報保護に関する指針を規定し、全職員がこれを遵守することにより個人情報の適切な取り扱いに努めます。
2. 個人情報の重要性について病院全体での教育啓蒙活動を実施すると共に、個人情報の管理者および監査者を設置し、適切な管理・監査体制を確立し継続運用を行います。
3. 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩など発生しないよう安全対策を実施致します。
4. 個人情報の収集・利用・提供については国の法令および関連する指針や規範を遵守致します。
5. 当院で規定する個人情報保護に関する指針を随時見直し継続的改善に努めます。

個人情報のご提供と当院での個人情報の利用に同意下さいますようお願い致します。

医療法人野口記念会(財団)野口病院

野口病院のすがた

設備	40P
環境	44P
特色	47P
ホームページ	50P
施設案内図	51P
あゆみ	56P
アクセス	58P

放射線診断・治療機器の充実

• #1

PET-CT 装置

PETとX線CTの一体型装置です（大分県では3台目）。当病院では悪性リンパ腫などの全身の検査を行っています。原則として入院しての検査になります。



• #2

SPECT-CT 装置

シンチカメラとX線CTの一体型装置です。放射性医薬品を投与し、体内から出てくる放射線をシンチカメラで画像化することにより代謝の画像が得られます。さらにX線CT画像と重ねあわせることで、より正確な診断が可能となります。

充実の検査体制

甲状腺、副甲状腺に関する検査は可能な限り、病院内ですべて受けていただけるよう、一般撮影・X線CT・MRI・骨塩定量・核医学まで充実した機器を備えています。これは当病院規模としてはかなりの充実度です。これらを扱うスタッフの教育にも力を入れています。

#3

MRI 装置

強力な磁場と電磁波を用いて体の断層像を撮像します。当病院では、バセドウ病眼症の診断や治療効果の判定、甲状腺がんの周囲組織への浸潤の有無などを見るために用いています。



#4

X 線 CT 装置

X 線を使って体の断層像を撮影する装置。0.5mmの厚みの画像を1回転で80枚同時に撮影できます。また本装置は、エネルギーの異なるX線を用いたDual Energy CT撮影も可能です。



#5

放射線外照射治療装置

高エネルギーX線(4、6、10MV)または電子線(4、6、9、12、15MeV)を、病気の部分にできるだけ絞って当てることで、副作用を極力抑えた治療を可能にします。

広く
ゆったりとした
病室



特別室



1床室



RI病室



当病院では、入院患者様に少しでも快適な入院生活を送っていただくという考えから、テーブルといすを各室にご用意しています。また洗面台も各室ごとに設置、部屋入り口にはカーテンをつけるなど、入院患者様の生活利便やプライバシーにも配慮しています。

大きな信頼にお応えしていきます

当病院には、年間約 54,000 人の外来患者様が訪れます。そのうち初めて診察を受ける方は約 2,800 人、手術件数は 800 件にのぼります(2021年度)。当病院の特徴は、大分県外からも患者様が多く、初診患者様の 39%、入院患者様の 61% が県外からです。患者様から寄せられるこうした大きな信頼にお応えしていくことが野口病院の使命であり責務です。



遺伝子解析を行っています

甲状腺と副甲状腺の遺伝に特に力を注いでおり、腫瘍の DNA、RNA 解析も行っています。



満足度調査を行っています

当病院では、満足度アンケート調査を行っています。このアンケートでは、「病室」「ベッド」「トイレ」「騒音」「食事」など入院環境についての満足度と記述によるご意見、また「医師」「看護師」「薬剤師」「栄養士」「受付事務」「診療放射線技師」「検査技師」など病院スタッフの接遇態度などについても同様に満足度とご意見を伺っております。調査開始以来、たくさんのご意見が寄せられています。

野口病院の今後の成長のため、アンケートへのご協力をお願いいたします。



食事にも力を入れています

当病院では、管理栄養士と調理師が入院患者様の食事や栄養相談にあたっています。スタッフが心をこめて調理する食事は、「おいしい。彩りも味付けもよい」「朝・夕の選択食がよい」などのご意見をいただいています。季節感のある食事を心がけています。

診察前検査を行っています

当院では基本的に、外来患者様が検査を受けられた日に（細胞診も含めて）検査結果をすべて揃えて説明ができる体制を整えています。ほとんどの患者様に対してその日のうちに診断をつけることができ、今後の治療方針について相談することができます。



当病院のホームページは1996年に開設、患者様に必要な最新情報をお届けできるよう日々更新しています。とくに甲状腺、副甲状腺、糖尿病などの病気や、ヨウ素制限などについてくわしく紹介しています。

<https://www.noguchi-med.or.jp/>



コンテンツ

- 甲状腺・副甲状腺の病気について
- 糖尿病のページ
- 受診案内や入院の案内
- 外来診察医と臨時休診日
- 再診予約受付
- 交通案内及び病院近くの宿やお店など
- 入院中のお食事
- 電話問い合わせの方法
- 質問受付
- スタッフ募集、研修、見学案内

etc.

※ホームページは日々更新しております。コンテンツ項目が変わる場合もございます。ご了承ください。

8F		
7F	病棟 トレーニングルーム	
6F	病棟	屋上庭園
5F	病棟 RI治療病棟	
4F	手術室 会議室	
3F		
2F	耳鼻科 内視鏡検査室 検査科(採血・エコー・心電図・他) 売店	
1F	診察室 予診室 医事課 薬局 ATM	
B1	放射線科(放射線診断・放射線治療・核医学・他) 診察室	

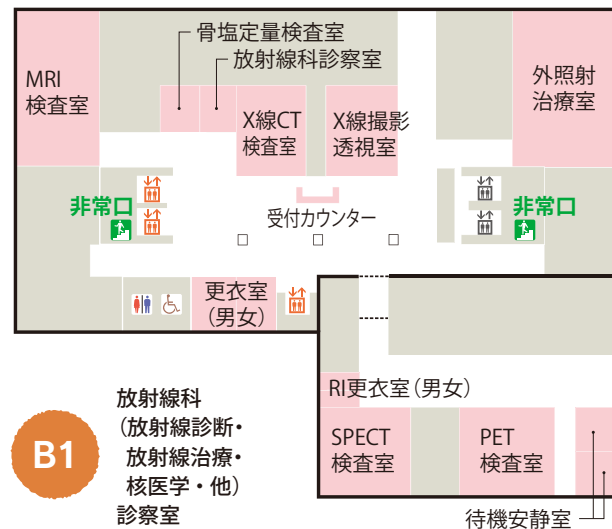
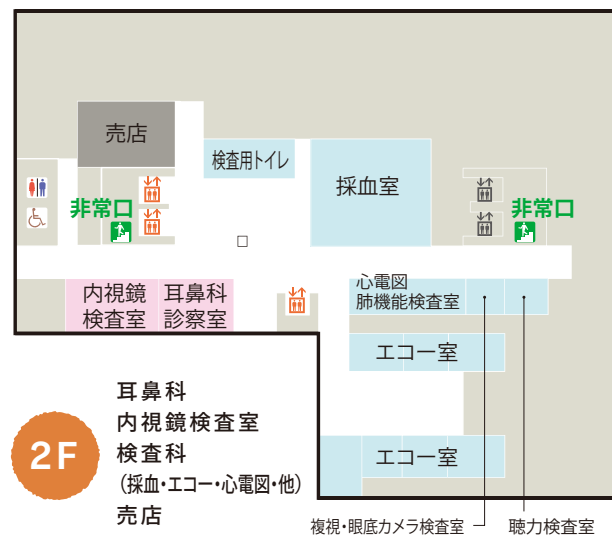
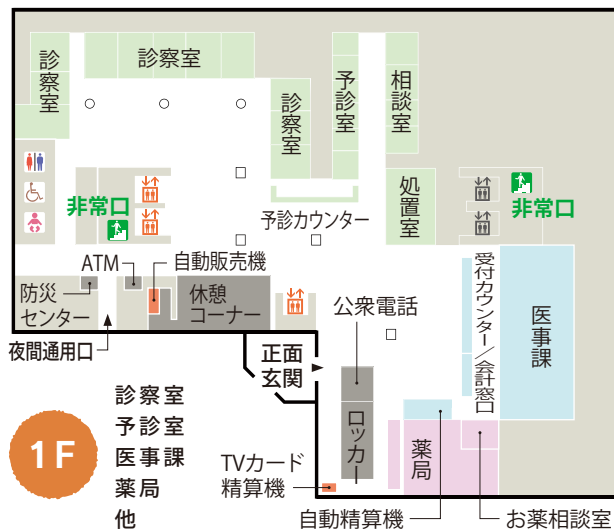
免震構造を採用



Floor map

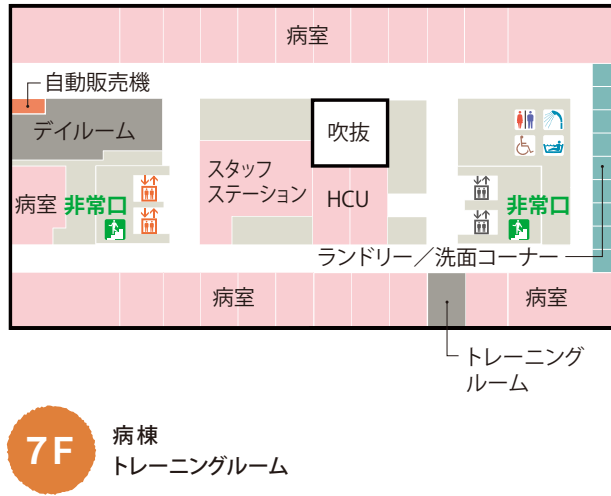
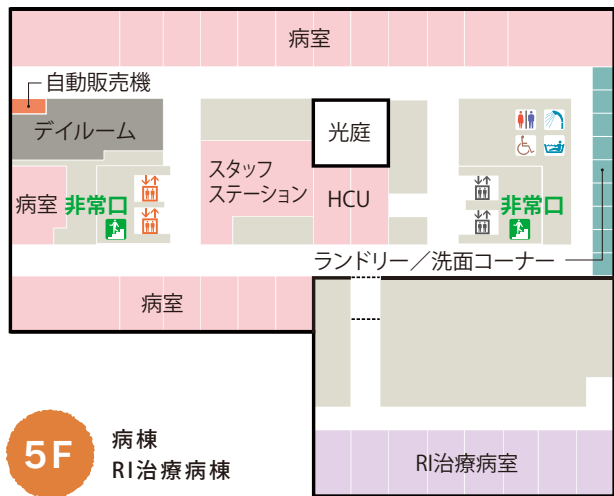
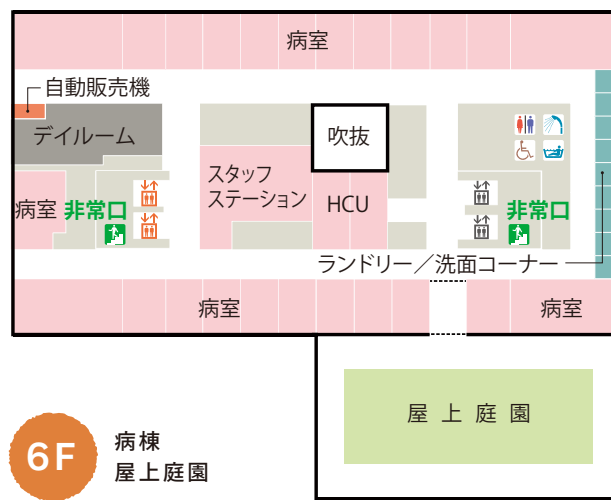
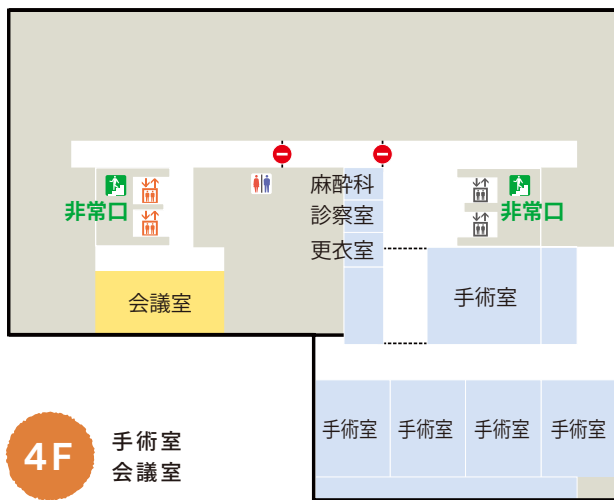
分からない点や、お困りのことがございましたらスタッフに遠慮なくご相談ください。

患者様用 業務用



野口病院のすがた

施設案内図



1922年 7月
(大正11年)

野口雄三郎が別府市野口中町に、北九州の財界人・佐藤慶太郎氏の寄付により創設。
炭鉱経営で財をなした佐藤氏は東京都美術館の寄贈者としても有名。病院の開設資金は全額氏の寄贈によるもので当時のお金でおよそ25万円。そのうちの3分の2が医療機器などの購入資金に当てられていたように、当初からX線撮影装置、X線治療装置など最新の医療機器・設備を備えた病院として出発している。



主な出来事

人事

1928年
(昭和3年)

隈鎮雄先生 野口病院副院長に就任

1929年 8月
(昭和4年)

野口雄三郎 万国外科学会（ポーランド）にて「バセドウ病の手術成績と再発様式について」と題して講演。この折、ウィーン大学にて手術法を公開

1931年
(昭和6年)

伊藤尹先生 野口病院副院長に就任

1932年
(昭和7年)隈鎮雄先生 野口病院を退職し
神戸市に隈病院を開業1937年
(昭和12年)

日本臨床外科学会発足し野口雄三郎が初代副会長に就任
伊藤尹先生 野口病院を退職し東京の表参道に伊藤医院（現：伊藤病院）を開業

1940年
(昭和15年)

野口秋人 この頃より甲状腺の研究を開始

1942年 8月
(昭和17年)

野口秋人 院長就任

1945年
(昭和20年)

第二次世界大戦のため半年間ほど病院を閉鎖

1951年 5月
(昭和26年)

医療法人野口記念会（財団）設立。「この財団は病院を運営し、科学的で且つ適正な医療を普及することを目的とする」

1955年
(昭和30年)

この頃シンチスキャナー装置導入（国内2台目）

1965年 12月
(昭和40年)

コバルト照射装置稼働

1970年 5月
(昭和45年)

病院近代化第一期工事完成（病床数 115 床）

1976年 11月
(昭和51年)

野口秋人 第 28 回大分合同新聞文化賞受賞

1977年 1月
(昭和52年)

RI（放射性同位元素使用検査診療）棟完成
石垣貴弘先生 野口病院を退職し
浜松市に石垣甲状腺クリニックを開業

1978年 11月
(昭和53年)

野口秋人 日本医師会最高優功賞受賞

1980年
(昭和55年)伊藤淳一先生 野口病院を退職し
北九州市に伊藤クリニックを開業1981年 4月
(昭和56年)

FACOM V-830 診療報酬請求（レセプト）HOPE-II 稼働
栗原英夫先生 野口病院を退職し盛岡市に
栗原クリニック・栗原甲状腺研究所を開業

1983年
(昭和58年)

野口秋人 第 3 回三宅賞受賞／第 42 回西日本文化賞受賞

1986年
(昭和61年)

野口秋人 第 19 回甲状腺外科検討会世話人

1987年 4月
(昭和62年)

野口志郎 院長就任
野口秋人 勲 5 等褒光旭日賞叙勲

1989年 9月
(平成元年)

高エネルギー放射線治療装置稼働

1990年 7月
(平成2年)

増改築竣工 病床数（115 床より）154 床となる

1991年 7月
(平成3年)

MRI、X線骨密度測定装置稼働

1992年
(平成4年)田尻淳一先生 野口病院を退職し
熊本市に田尻クリニックを開業1993年 10月
(平成5年)

迅速検査システム稼働 診察時に検査結果を参照できるようになる

1996年 12月
(平成8年)

インターネットホームページ開設
日本館が登録有形文化財に登録される

1997年 10月
(平成9年)

野口志郎 「第 30 回甲状腺外科検討会」世話人

1998年 11月
(平成10年)

診療支援・オーダーリングシステム稼働

1999年
(平成11年)

山下弘幸先生 野口病院副院長に就任

2000年 1月
(平成12年)

遺伝子検査室開設
CT 稼働

2001年 5月
(平成13年)

病室ほか改装工事 病床数（154 床より）120 床となる

2001年 8月
(平成13年)

野口志郎 国際内分泌外科学会（ベルギー）にて理事長就任
二田哲博先生 野口病院を退職し
福岡市に二田哲博クリニックを開業

2002年 8月
(平成14年)

日本医療機能評価機構認定（一般病院 A）

2002年 11月
(平成14年)

野口志郎 第 22 回三宅賞受賞
藤平隆司先生 野口病院を退職し
北九州市にふじひら内科医院を開業

2004年
(平成16年)

電子カルテを導入 フィルムレス運用となる

2004年 6月
(平成16年)

野口志郎 第 12 回国際内分泌外科学会で会長を務める

2004年 11月
(平成16年)

野口志郎 第 56 回大分合同新聞文化賞受賞

2005年 11月
(平成17年)

野口志郎 日本臨床外科学会学術賞受賞
山下弘幸先生 野口病院を退職し
翌年福岡市にやました甲状腺・副甲
状腺クリニックを開業

2009年 9月
(平成21年)

(株)日建設計と新病院の設計について業務委託契約

2011年 1月
(平成23年)

野口志郎 厚生労働大臣表彰
鹿島建設(株)新病院建設に着工

2013年 5月
(平成25年)

別府市青山町に病院新築移転
内野真也、三股浩光（大分大学） 第 19 回日本家族性腫瘍学会学術集會会長

2014年 10月
(平成26年)

村上 司 第 33 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集會会長

2017年 5月
(平成29年)

村上 司 院長就任
内野真也、野口仁志、野口靖志 副院長就任
野口志郎 第 60 回日本甲状腺学会学術集會会長

2021年 9月
(令和3年)

村上 司 第 21 回日本内分泌学会九州支部学術集會会長

2022年 7月
(令和4年)

開院 100 周年

掘田温泉

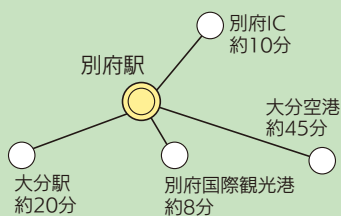
至日出JCT

大分自動車道

500



別府駅までの所用時間(車)



観海寺温泉

杉ノ井ホテル

スギノイパレス

南立石公園

A 国道10号線より富士見通りを上り、別府公園北交差点を左折し、次の交差点を右折。

B 別府I.Cより県道52号線を市街地方面に下り、ビーコンプラザ手前を斜め右に下り、歩道橋のある交差点を左折。

至大分IC

ラクテンチ

野口病院

明豊高等学校

ビーコンプラザ

野口原総合運動場

別府公園

別府市役所

ホテル白菊

別府温泉

富士見通り

別府駅

流川通り

別府中央病院

トキハ別府店

SPAビーチ

別府タワー

竹瓦温泉

youmeタウン

至大分市

竹細工伝統産業会館

実相寺中央公園

鶴見病院

亀の井バス

鉄輪温泉

マルシヨク

野口病院のすぐた

アクセス

亀川温泉

別府大・短大

大分マツダ

やまなみハイウェイ

JR日豊本線

花時計

別府大学駅

至日出町

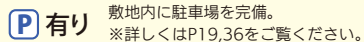
大分県観光物産館

さんふらわあ乗場
ハーバーターミナルビル
関西汽船乗場

上人ヶ浜公園

別府国際観光港

別府湾



TEL 0977-21-2151

再診予約専用＞TEL 0977-21-9700

大分県別府市青山町7番52号 FAX 0977-21-2155

<https://www.noguchi-med.or.jp/>